

2026年5月29日

ウェザーニュース、2026年「桜の振り返り調査」の結果を発表

今年の桜は記録的早さで開花 お花見タイミングは約3割が合わず ～お花見平均回数は3.1回で昨年並 初めて行ってよかった名所は弘前公園が2年連続で1位～

株式会社ウェザーニュース(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:石橋 知博)は、スマホアプリ「ウェザーニュース」を通して「桜の振り返り調査」を実施し、その結果を発表しました。本調査結果の詳細は「ウェザーニュース」のアプリやウェブサイトで公開するとともに、今後のサービスに活用していきます。

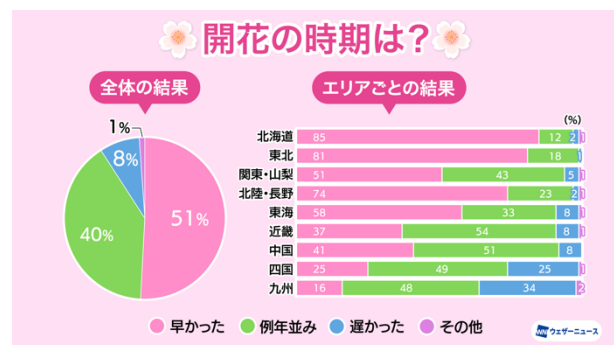
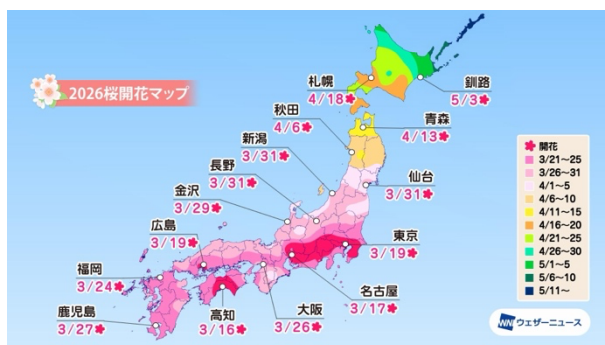
ポイント

1. 東日本や北日本は記録的な早さで開花、ユーザーの半数以上が開花の早さを実感
2. 約1週間で開花から満開へ、70%がお花見のタイミング「ばっちり」
3. 半数以上がお花見に「行った」と回答、お花見回数の全国平均は「3.1回」で昨年並

本プレスリリースの素材のダウンロード	2026年「桜の振り返り調査」はこちら
ウェブ版プレスリリース「桜の振り返り調査」 https://jp.weathernews.com/news/56133/	ウェザーニュースウェブサイト「桜の振り返り調査 2026」 https://weathernews.jp/news/202605/290101/

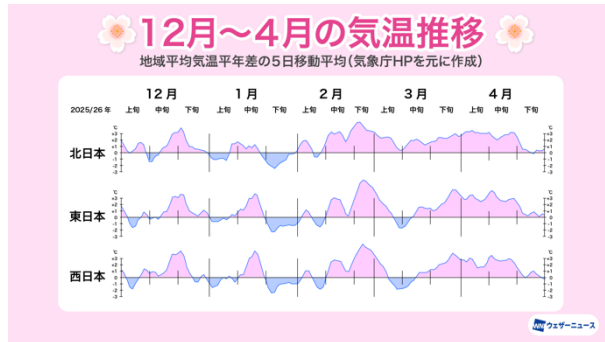
◆開花時期は北日本や東日本の半数以上が「早かった」と実感

2026年の桜の開花は、甲府では1953年の統計開始以降で1番の早さとなり、名古屋や岐阜では過去最も早い記録と並びました。東京でも昨年より10日早く開花するなど、北日本や東日本で昨年より早い開花となりました。一方、西日本は平年並みの開花となったところが多くなりました。



ウェザーニュースアプリのユーザーに開花の時期について聞いたところ、51%が「早かった」、40%が「例年並み」と回答しました。エリア別に見ると、西日本と東日本・北日本で回答結果が大きく異なり、実際の開花時期が反映された結果となりました。九州～近畿では「例年並み」の回答が最も多く約半数を占めているのに対し、東海～北海道では「早かった」と回答された方が過半数を占めています。また、四国と九州では他のエリアと比べて「遅かった」と回答された方の割合が多くなっており、九州では「遅かった」という回答が「早かった」という回答を上回るなど、西日本ではエリアごとに開花時期の感じ方に差があったことがわかりました。一方、東北や北海道では80%以上が「早かった」と回答しており、ほとんどの方が開花の早さを実感されていたようです。

桜の花芽(生長すると花になる芽)は夏に作られ、晩秋から初冬にかけて寒い冬を越すために休眠に入ります。その後、真冬に一定期間、厳しい寒さにさらされると低温刺激によって休眠から目覚め(休眠打破)、開花に向けて生長が再開します。休眠打破後は春にかけて気温が上昇するのに従って花芽が生長し、暖くなるほど開花が早まります。

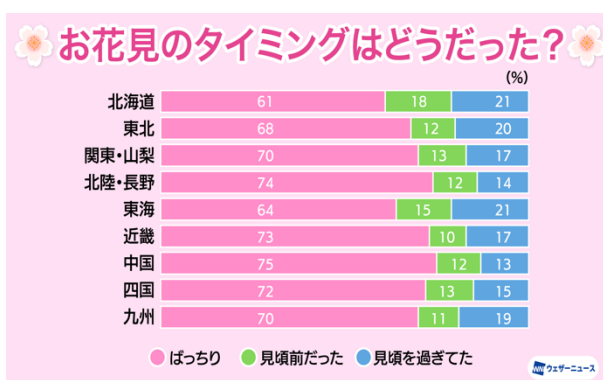
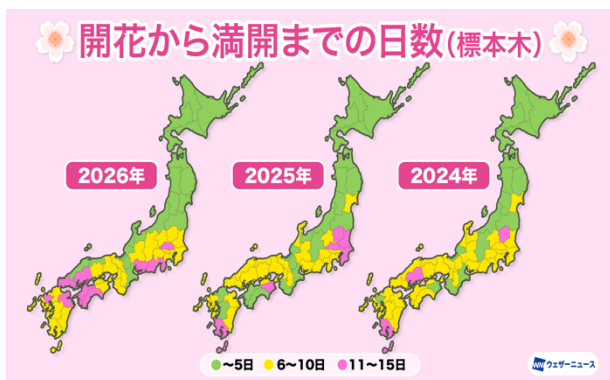


今冬から春にかけての気温を見ると、12月は全国的に平年並～高い傾向でした。1月は冬型の気圧配置となり平年より気温の低い日が多くなりましたが、中旬は高気圧に覆われて気温が高くなりました。全国的に花芽の休眠打破は行われたと考えられますが、九州南部など一部では寒気の流れ込みが弱く、休眠打破が遅れたとみられます。桜の花芽の生長が始まる2月後半からは、東日本と西日本で平年より気温の高い日が多くなり、生長は順調に進みました。3月中旬に寒気の流れ込みで気温の低くなった日がありましたが、下旬は再び暖かくなり、開花は平年並から非常に早くなった地点が多くなりました。4月以降も平年より気温の高い日が多くなったため、3月後半から花芽の生長が始まる東北北部や北海道では開花が非常に早くなりました。

◆1週間ほどで開花から満開へ、70%がタイミング「ばっちり」

開花から満開までの全国の平均日数は7.3日で、2025年(6.7日)や2024年(6.2日)より長くなりました。エリア別に見てみると、西日本や東日本では8日前後で満開になりました。昨年は寒の戻りの後に急激に気温が上昇したため短期間で桜が満開になったものの、今年は3月の寒の戻りの後にゆっくりと暖かくなったため、開花から満開までの期間が長くなりました。北日本では、4月上旬は統計開始以来1位の高温となったこともあり、4日前後で満開になりました。

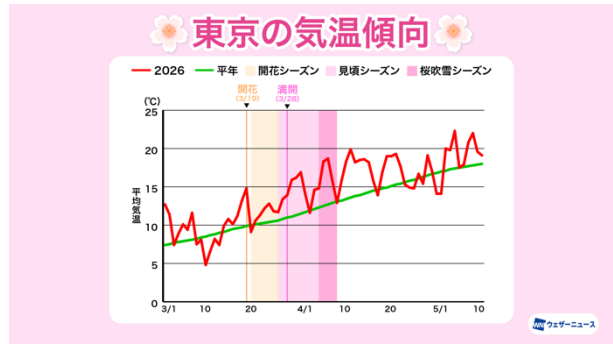
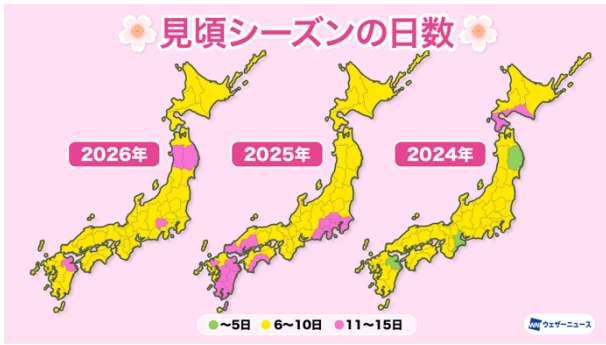
ウェザーニュースアプリのユーザーにお花見のタイミングについて聞いたところ、「ばっちり」という回答が70%で最も多く、次いで「見頃を過ぎてた」が17%、「見頃前だった」は13%という結果になり、「ばっちり」の回答は昨年と同程度でした。エリア別に見てみると、開花から満開までの日数が比較的長かった西日本や関東甲信、北陸で「ばっちり」と回答した人の割合の高い傾向となっており、グッドタイミングでのお花見を楽しめたと考えられます。



◆見頃は平均8.8日、昨年より短いお花見シーズン

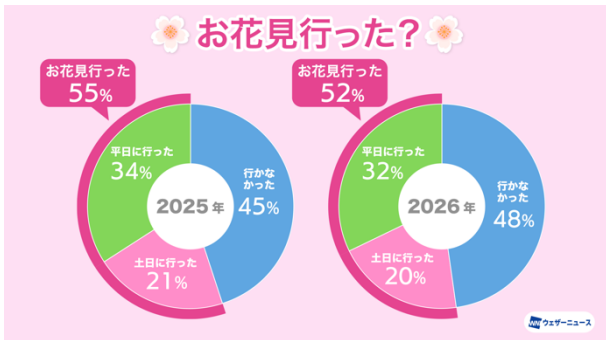
お花見をするのに重要な桜の見頃期間について調べると、今年は全国平均で8.8日となり、2025年(9.7日)よりも短い見頃期間となりました。エリア別に見ると、西日本や東日本は開花から満開となっても寒の戻りはなかったため、寒の戻りがあり桜の花が長持ちした昨年(10日前後)に比べると見頃の日数が短く8.8日となりました。

一方、北日本は4月は気温の高い日が続いたものの、下旬に一時的な寒の戻りがありました。昨年も北日本は寒の戻りがあり、見頃期間は8.6日と2025年(8.4日)と同程度の長さとなりました。



ウェザーニュースアプリのユーザーにお花見に行ったかどうかを聞くと、52%が「行った」と回答し、半数以上の方がお花見に行ったことがわかりました。また、お花見に行った回数を聞いたところ、昨年は全国平均で3.2回だったのに対し、今年は3.1回で大きく変化はありませんでした。見頃の時期の週末が悪天候や強風と重なりお花見へ行きそびれた方がいた一方、代わりに平日、仕事の後や合間にお花見を楽しんだという回答もあり、結果的にお花見の回数は大きな変動はなかったと考えられます。

都道府県別に見ると1位は島根県の4.8回で、2位が徳島県の4.7回、3位が京都府と愛媛県の4.5回、5位が山梨県の4.4回でした。上位4県は西日本が占める中、東日本からは見頃シーズンの日数が11~15日と長かった山梨県が5位にランクインする結果となりました。



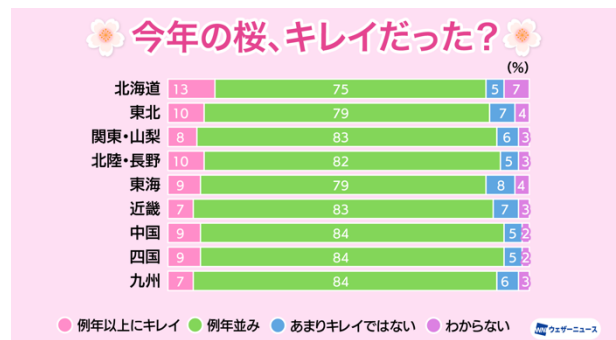
参考: さくらのシーズンの定義について

「さくらプロジェクト」でウェザーニュースのユーザーが見守る約1万本の桜の生長状況をもとに、以下のように定義しています。

- ・開花シーズン : 2割が開花した日
- ・見頃シーズン : 9割が開花、3割が満開を迎えた日
- ・桜吹雪シーズン : 散り始め+葉桜の割合が、満開+もうすぐ満開の桜の割合を上回った日
- ・葉桜シーズン : 葉桜の割合が、散り始めの桜の割合を上回った日

◆桜は例年並みのキレイさ

今年の桜の美しさについて、ウェザーニュースアプリのユーザーに「今年の桜はキレイだった?」と質問し、「例年以上にキレイ」「例年並み」「あまりキレイではない」「わからない」の4択で回答していただきました。回答を集計した結果、「例年並み」と回答した方が最も多く、全国平均で82%となりました。



エリア別で見ると、「例年以上にキレイ」の回答が北海道では13%、北陸・長野では11%という結果となりました。

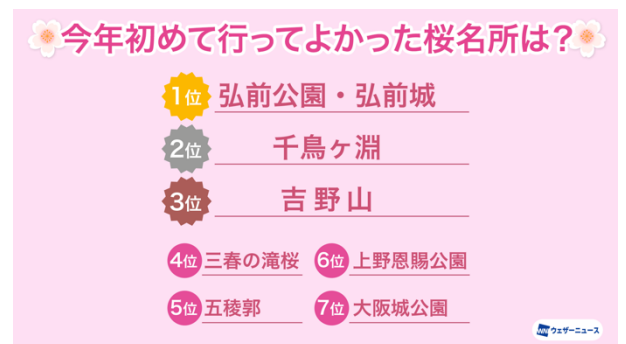
◆ゆっくり過ごすには「レジャーシート」が便利

「お花見に持って行って便利だったもの、役に立ったもの」について質問しフリーコメントで回答していただいたところ、最も回答数が多かったのは「レジャーシート」、ついで「スマートフォン」、「飲み物」という結果になりました。ベンチなどが埋まっていることを想定し、ゆっくり座って桜を楽しむためには欠かせないアイテムとして挙げられていました。



◆初めて行って良かった桜名所 2年連続で1位が弘前公園/弘前城

今年初めて行ってよかった桜の名所についてフリーコメントで回答を受け付けたところ、1位は弘前公園/弘前城(青森県)、2位は千鳥ヶ淵(東京都)、3位は吉野山(奈良県)となりました。皆さんからは、弘前公園/弘前城について「お堀の水面に映る桜が美しい、日本一の桜の名所」といったコメントや千鳥ヶ淵は「ボートに乗りながらお花見でき、混雑する中でも見に行く価値がある」、吉野山は「山全体が桜に染まる吉野桜は別格」など、日本を代表する桜の美しさに感動したコメントが多く寄せられていました。



また、今年3月に行った『お花見調査2026』の「一度は行ってみたい桜の名所ランキング」(※)にランクインした憧れの名所が今回のランキングにも入っており、桜の人気スポットが名を連ねる結果となっています。

※一度は行ってみたい桜名所ランキング: <https://weathernews.jp/news/202603/060176/>

ウェザーニューズでは、来年以降も桜の開花予想やお花見に関する調査などを通じて、皆さんに桜を楽しんでいただける情報発信を続けてまいります。

<アンケート概要>

質問:「開花の時期は？」 回答:早かった/遅かった/その他/わからない 回答数:7,972人

質問:「お花見のタイミングはどうだった？」 回答:見頃前だった/ばっちり/見頃を過ぎてた 回答数:8,513人

質問:「お花見行った？」 回答:平日に行った/土日に行った/行かなかった 回答数:8,149人

質問:「お花見に何回行った？」 回答:1~20回 回答数:7,829人

質問:「今年の桜、キレイだった？」 回答:例年以上にキレイ/例年並み/あまりキレイではない/わからない 回答数:9,181人

質問:「今年初めて行ってよかった桜名所は？」 回答数:2,032人

質問:「お花見に持って行って便利だったものは？」 回答数:2,019人

◇参考「お花見何回行った？」(回)

都道府県	回数	都道府県	回数
北海道	2.6	三重	2.8
青森	3.1	滋賀	2.8
岩手	3	京都	4.5
宮城	2.4	大阪	2.8
秋田	2.2	兵庫	2.9
山形	2.3	奈良	2.4
福島	3.3	和歌山	3.7
茨城	2.7	鳥取	2.8
栃木	2.9	島根	4.8
群馬	3.9	岡山	3
埼玉	3.4	広島	2.7
千葉	3.2	山口	2.9
東京	2.7	徳島	4.7
神奈川	3.4	香川	3.5
新潟	2.7	愛媛	4.5
富山	2.9	高知	4.1
石川	2.3	福岡	3.1
福井	2.5	佐賀	3.5
山梨	4.4	長崎	2.6
長野	3	熊本	2.5
岐阜	3.1	大分	3.1
静岡	3.5	宮崎	3.1
愛知	3.7	鹿児島	1.8
全国平均 3.1			